

着物への興味は海外で着物を着たことから始まった。実際に着物を着たときに感じた気が引き締まる感覚や、想像以上に大きかった海外の人からの反響は船切に衝撃を与え、着物を見ていただけのときとは全く違つて印象を



# 着物の魅力を伝えたい

持ったという。

しかし着物業界の市場規模は右肩下がり。倒産する会社も多く、着物を着る人も減って

いる。「着物の良さをもっと多くの人に伝えていきたい」。学生時代にベンチャー企業を立ち上げたときから携わってきたITの力を活用し、着物の普及へと動き始めた。

着物の知識や業界の仕組みは問屋やメーカー、製造現場を訪問しながら勉強した。結城紬(ゆづきつむぎ)の生産地を訪問したとき

には、素材へのこだわりや着物に込められた作り手の思いを感じた。

着物業界を知るにつれて消費者の気持ちも見えてきた。顧客を着物の購入から遠ざけて

いる「着物はどこで買えるのか」「着物をどう選べばいいのか」といった「分からない」を解消するためにECサイトを運営する。

着物は帯や小物を組み合わせ、季節やシーンごとのコーディネートを紹介しながら販売。画像を自動的に入れ替えて動きを見せたり、ところどころに英語を利用し、楽しさ・新しさをアピールする。

着物の基礎知識をメルマガで提供したり、動画を使って着物の着方や手入れの方法を説明。着物を着て参加するイベントも積極的に企画している。熊切の思いに共感した企業からは、イベント時に着物や浴衣の提供依頼を受けるようになった。

「着物の伝統を守りながら、新しい文化や価値観を創造していきたい」。着物普及への取り組みは始まったばかりだ。

(敬称略)

